

《第 23 号》「森を破壊しない選択～フェアウッド・コンシューマーになろう」

中澤健一(国際環境 NGO FoE Japan 理事、森林プログラムディレクター)

500 枚入り 290 円の格安コピー用紙、手ごろな天然木ダイニングテーブル、堅くて腐りにくいガーデニング木材。こうした製品を店頭で目にしませんか？

格安のコピー用紙の多くは、インドネシア製や中国製です。原料として使われていることが多く、大規模に皆伐され、多くの野生動植物や地元住民を苦しめている恐れがあります。

手頃な値段の天然木家具は、多くの場合タモやナラ、パインの集成材でできています。タモやナラの森林は極東の一部にしか存在せず、そこに住むトラやヒョウなどが絶滅の危機に瀕しています。またパインを産出するシベリアのタイガは、伐採によって凍土が融解し、(強力な温室効果ガスである)メタンガスが放出されたり、伐採業者の火の不始末などが引き起こす大規模な森林火災により、炭素の放出源となって、地球温暖化を促進しています。

ウッドデッキなどのガーデニング木材として人気なのが、堅くて傷つきにくいウリンや、シロアリや侵食に強いレッドシダー(ベイスギ)です。ウリンはインドネシアで伐採が厳しく制限されていて、違法伐採の恐れが非常に高いです。レッドシダーは、カナダの樹齢数百年から千年以上の屋久島のような自然豊かな巨木の森から産出されたものです。

原材料や生産国、樹種はよく確かめて選びましょう。できればお店の人に古紙 100%や、国産の杉や檜を使った製品、FSC の森林認証マークの入った製品を扱ってくれるように頼んでみてください。

以上